

# 遠賀

No.136 2015. 2.10

おんがちょう  
発行 / 福岡県遠賀町議会

## 議会だより



### 特集 新春対談

。。。 2

### 12月定例会

指定管理者の選定など 。。。 4

### 1月臨時会

。。。 6

### 一般質問

9人の議員が問う 。。。 7

議会広報モニター募集 。。。 16

広渡小学校もちつき大会  
平成26年12月13日

広渡小学校では、昨年までは5年生だけで餅つきを行っていましたが、今年は6年ぶりに全児童による餅つきが行われました。

子どもたちは、地域のお年寄りから餅つきの要領を丁寧に指導してもらい、立派な餅が出来上がりました。

スポーツを通して遠賀町に貢献していきたい



©2009 GVK

# 新春対談



**謹んで年頭のご挨拶を申し上げます**

町民の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。また、日ごろから町議会に対する温かいご理解と絶大なるご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今回、遠賀町木守出身でギラヴァンツ北九州のプロサッカー選手、弓崎恭平選手と対談の機会をいただきましたので、その対談の様子を一部ご紹介いたします。

遠賀町議会 議長 奥村 守

**議長** 今日は一からサッカーのことを教えてください。よろしくお願いします。

**サッカーを始めたきっかけは**

**議長** 遠賀町始まって以来のプロサッカー選手というので、サッカーを始めたきっかけをお願いします。

**弓崎選手** 3歳上の兄が

おんがサッカークラブに入ったのを見に行った時に、「すぐく楽しそうだな」と思って、小学校からじやないと入れないところを無理言って、幼稚園の年長から入らせていただいたの

がきっかけです。

**おんがサッカークラブでの思い出は**

**議長** おんがサッカークラブで一番心に残る思い出は何ですか。

**弓崎選手** 中学、高校、大学ではサッカーの難しさやつらさとかをたくさん



© Giravanz

トレーニングマッチをする弓崎選手

わったけど、おんがサッカークラブでは、サッカーの楽しさや試合での楽しさとか、とにかく楽しい思い出ばかりです。

それと日体大出身の監督が申年で、自分たちも申年だったんで、サル軍団とかいってイベントごとに、監督と一緒に「エッッサッサ」を踊っていましたね。それが思い出に残っています。

**守備の醍醐味は**

**議長** 守備の一番の醍醐味は何ですか。

**弓崎選手** 自分が予測した通りに相手が動いて、自分がボールを奪えたときからですね。サイドバック



鋭いまなざしでサッカーの話をする弓崎選手

は守備だけでなく、攻撃もできるので、自分的には一番楽しいポジションですね。

**弓崎選手** 大学に入った時は、プロになるか結構迷って

ました。でも、スペインに行かせてもらって、レアル・マドリードなどの

**議長** 大学生活を続けながらプロサッカー選手に

なろうと思ったきっかけは何ですか。

**弓崎選手** 大学に入った時は、プロになるか結構迷って

ました。でも、スペインに行かせてもらって、レアル・マドリードなどのすごいチームの試合を見

(注) エッッサッサ 日本体育大学の独特の応援スタイル。

た時や、大学の選手権で全国準優勝した時も、大勢の観客が集まった国立競技場での試合がすごく楽しかったので、「こういう舞台でサッカーをしたい」というプロへの思いが具体的にになりました。

### 遠賀町のイメージは

**議長** 遠賀町はどんな町だと思いますか。

**弓崎選手** 田舎だけど、自然が豊かなので、住みやすい町ですね。

**議長** 遠賀町の良いところと悪いところをお聞かせください。

**弓崎選手** 良いところは、やはり自然が豊かなこと。自分アウトドアが好きで、外で遊ぶことが好き

だったので、ちよつと行けば魚釣りができるとか、いろいろな遊びができることじゃないですかね。

悪いところは、快速が止まらないし、観光スポットや施設がないので、人が集まらないところで

すかね。

**議長** どんな町になったらしいと思いますか。

**弓崎選手** 泥リンピックや三輪車耐久レースをしてるけど、まだあまり浸透してないので、「遠賀町にはこういう楽しいところがある」というイメージ作りというか、思い出になるものを作った方がいいんじゃないかなと思います。自分も小学校の時に、川干し体験をして楽しかったので、今でも記憶に残っています。

### 今後の目標は

**議長** 今後の目標をお聞かせください。

**弓崎選手** ギラヴァンツを



初めてのサインを照れながら書いていただきました

1に上げることはもちろんですが、まずは開幕スタメンですね。そして、「ギラヴァンツといえば弓崎恭平」の名前が出るようになって、遠賀町から一人でも多くの人に試合を見に来てもらえるように、スポーツを通して

遠賀町に貢献できたらいいかなと思います。

**議長** ギラヴァンツの看板選手になっていただき、

「ギラヴァンツといえば弓崎恭平」の名前が出るようになって、遠賀町から一人でも多くの人に試合を見に来てもらえるように、スポーツを通して

「ギラヴァンツといえば弓崎選手、弓崎選手といえば遠賀町」となっているだけで、私たちも本当にうれしいです。

### サッカーをしている子どもたちに一言

**議長** サッカーを始めようとしてる子どもたちや現在サッカーをしている子どもたちに、一言お願いします。

**弓崎選手** まずはサッカーの楽しさを味わってほしいと思います。

そして、サッカーをしている子は、目標を持つことが大事だと思うんで、いろんな目標があると思うんですけど、その小さい目標と大きい目標を一つ一つクリアして、楽しいことばかりじゃないんで

すけど、逃げないで自分に勝てるよう頑張ってくださいと思います。

**議長** 本日は、大変お忙しいところ、対談をさせていただきましてありがとうございます。今後のますますのご活躍を期待しています。



これからの活躍を期待しています



ゆみさき きょうへい 選手  
弓崎 恭平

(木守、プロサッカー選手・福岡大学4年生)

所属：ギラヴァンツ北九州  
ポジション：DF

おんがサッカークラブでサッカーを始める。

その後、アビスパ福岡U-15、東海大学附属第五高等学校、福岡大学でサッカー選手として活躍。

福岡大学在学中の平成26年8月12日に「JFA・Jリーグ特別指定選手」として、ギラヴァンツ北九州の選手に承認され、現在プロサッカー選手として活躍中。

(注) JFA・Jリーグ特別指定選手

サッカー選手として最も成長する年代の選手に、「個人の能力に応じた環境」を提供するため、全日本大学連盟や全国高等学校体育連盟などに登録されたまま、Jリーグなどの試合への出場が可能になる選手。

●ギラヴァンツ北九州  
公式ホームページ  
<http://www.giravanz.jp/>

# 12月 定例会

12月定例会は、平成26年12月15日から22日までの8日間開催されました。

議案は、指定管理者の指定や条例制定・改正、平成26年度補正予算など12件が上程され、慎重審議を行いました。

## 遠賀町ふれあいの里は 遠賀町社会福祉協議会



# 指定管理者を選定



## 遠賀町立図書館は (株)図書館流通センター

公の施設に係る指定管理者の指定（遠賀町ふれあいの里）

（全員一致可決）

指定管理者に「遠賀町社会福祉協議会」が再度指定されました。

議案質疑の中では、町の直営ではなく、公募によらない特定の団体の指定管理とした経緯について、質問がありました。

### 【執行部の答弁】

遠賀町社会福祉協議会が過去8年間で担ってきた指定管理状況や、遠賀町ふれあいの里で行う今後の高齢者施策や地域包括ケアの在り方などを内部で十分協議した。その結果、遠賀町社会福祉協議会の指定管理とすることを選定審査会に諮問し、認めていただいた。

### ● 委託期間

平成27年4月1日から平成32年3月31日まで

### ● 委託料

5年間で3億240万円

公の施設に係る指定管理者の指定（遠賀町立図書館）

（全員一致可決）

指定管理者に「(株)図書館流通センター」が再度指定されました。

業務委託期限満了により、新たに募集をしましたが同社1団体しか応募がなく、選定審査会の審査の結果、問題なく指定管理を行える団体であるとの評価を得たため、議事に提案されました。

委員会の審議では、次の選定に当たっては、

① 1団体では競争原理が働かない。

② 募集期限を延長すべきでなかったか。

③ 指定管理の在り方を含めて検討すべきだ。との意見が出されました。

### ● 委託期間

平成27年4月1日から平成32年3月31日まで

### ● 委託料

5年間で2億5500万円

## 条例制定

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

（全員一致可決）

「子ども・子育て関連3法」による児童福祉法が改正されたことに伴い、放課後児童クラブ（学童保育クラブ）の設備と運営に関して条例で定めるもの。

## 条例改正

国民健康保険条例の一部改正

（全員一致可決）

被保険者が出産時に支給される出産育児一時金の額を39万円から40万4000円に改正するもの。



すくすく育てね

## 議員提出の条例

地元酒等による乾杯の推進に関する条例

(全員一致可決)

本町産の農産物を原料とした特産品による乾杯を推進し、地元酒等の普及の促進を図り、地場産業の振興に寄与するとともに、本町の地域経済の活性化を図ることを目的とするもの。

※この条例は、強制するものではありません。

## 専決処分の報告

(万円未満四捨五入)

一般会計補正予算

(全員一致承認)

第3回目の補正予算は、950万円を増額し、予算規模は63億1494万円になりました。

衆議院議員選挙費

950万円

平成26年12月14日に執行された衆議院議員選挙等の執行経費。

平成26年度

## 一般会計補正予算

6063万円増額  
(万円未満四捨五入)

(全員一致可決)

第4回目の補正予算は、6063万円を増額し、予算規模は63億7557万円になりました。

### 【主なもの】

財源を充てるもの。

文化財事務所の改修工事

②民俗資料館に事務スペースを設置するもの。

費

313万円

公共施設整備基金積立

遠賀町ふれあいの里の

190万円

民俗資料館と温室を文化財事務所に改修する工事費。

内容は、

①空調設備が補助対象とならなかつたため一般

定住促進計画策定業務委託料

165万円

託料

定住促進計画を策定するための基礎調査を業者に委託するもの。

町制50周年記念誌印刷費

119万円

昨年発行された記念誌に今年度実施した記念事の



昨年発行された記念誌

業を追加するもの。

8200部印刷し、全世界に配布されます。

介護予防支援業務委託料

65万円

要支援1および2の増加によるもの。

保育所運営委託料

4130万円

親の新規就労による49人の児童数の増加による不足分を増額するもの。

乳幼児医療費

267万円

医療費の増加によるもの。

## 特別会計補正予算

(万円未満四捨五入)

遠賀霊園事業特別会計

(全員一致可決)

配水管工事費

700万円

霊園の配水管改修工事を行うもの。

霊園管理運営基金から繰り入れます。

## 請願

「農業・農協改革」に関する請願書

(全員一致採択)

【意見書の主な内容】

政府は6月24日「農林水産業・地域の活力創造プラン」を改定し、JA

の事業や組織統治の在り方、連合会の事業・組織形態、中央会の新たな制度への意向や農業委員会の改革等を提起している

が、今後の政府による、「農業・農協改革」の進め方如何では、JAの機

能が低下し、これまで農業者や行政・関係機関と連携して取り組んできた水田農業をはじめとする農業政策の推進、担い手の育成、管内農畜産物ブランドづくり等の対応が困難になり、農業者への多大な影響が懸念される。よって、政府におかれ

ては、農業者の相互扶助を目的として自主的に設立された協同組合であるJAに対して強制的な組織変更を押し付けるのではなく、組合員の意思に基づき自律的改革を基本とし、関連法案の改正等において拙速な対応を行わないよう、特段の配慮を強く求める。



農業委員会による現地調査

# 1月臨時会

1月15日開催

## 条例改正

一般職員の給与に関する条例の一部改正  
(全員一致可決)

人事院勧告に基づいて国家公務員の給与の改正が行われたため、国の改正に準じて、本町職員の給与を改正するもの。給与の引き上げは7年ぶりとなります。

改正の主なものは、

- ① 給料月額を若年層に重点を置いて平均0.3%引き上げる。
- ② 初任給を2000円引き上げる。
- ③ ボーナスのうち、勤務実績に応じて支給する勤勉手当を年間0.15カ月分引き上げる。

今回の改正で必要な経費は、約971万円です。

平成26年度  
一般会計補正予算  
1056万円増額  
(万円未満四捨五入)

(全員一致可決)

① 給料月額を若年層に重点を置いて平均0.3%引き上げる。  
② 初任給を2000円引き上げました。

今回の補正は、人事院勧告に準じた本町職員の給与の改定に伴う、人件費の増額と各特別会計への繰出金の増額が主なものです。

特別会計補正予算  
(万円未満四捨五入)

一般会計補正予算と同様に、人件費の増額が主なもので、各特別会計の補正額は次のとおり。

- 住宅新築資金等貸付事業特別会計 11万円
- 遠賀霊園事業特別会計 6万円
- 副町長 (全員一致同意)
- 国民健康保険事業特別会計 2万円 (賛成多数可決)

## 人事案件

住宅新築資金等貸付事業特別会計 11万円

6万円

(賛成多数可決)

学校給食事業特別会計 80万円  
地域下水道事業特別会計 14万円  
公共下水道事業特別会計 17万円

後期高齢者医療特別会計 (すべて 全員一致可決)

任期満了に伴い、再度選任するもの。  
和美さん (松の本)

任期 平成27年1月21日～平成31年1月20日

## 継続審査なる!

### 役場課設置条例の一部改正

行政サービスの低下がなく、柔軟で効率的な組織・機構のために、役場の課を現在の8課から「健康こども課」の新設を含む9課にするもの。

付託された第一常任委員会での審議では、

- ① 駅南開発事業は、町長の一番の公約であるし、今後の本町の方針性を決定する案件である。
  - ② 駅南開発事業の重要性を考えるならば、「都市開発係」という1係の位置付けでいいのか。
  - ③ 機構改革の案件は、所管の委員会のみで審議すべきではない。議員全員での連合審査会を設置すべきだ。
- との意見が出され、連合審査会での継続審査とした。

### ●連合審査会 (1月20日開催)

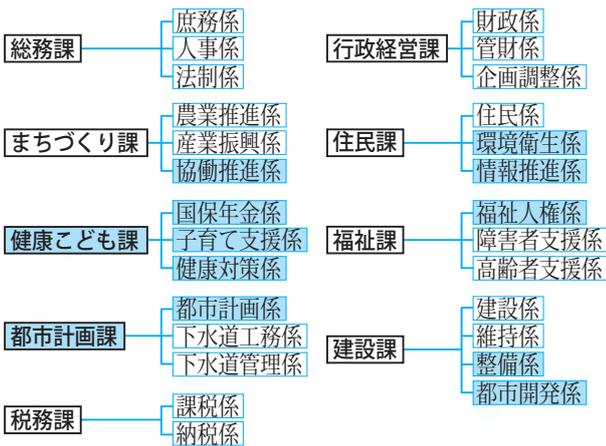
#### 【町長の答弁】

駅南開発事業は、絶対に進めて行くという強い意志は持っている。

駅南開発事業を専門に行う課の新設は、全体的な人員の配置などから、現状では考えていない。しかし、必要な時期が来れば、課の新設や配置人員の増員、外部の力を借りての技術者配置なども考えている。また、現在でも技術援助など、各課への横の連携をとっている。

採決は、連合審査会での審査内容も受けて、2月13日に開催される臨時会で行われます。

#### 【今回提出された案】 ※青色が変更予定の課・係。



### 賛否が分かれた議案

(○:賛成 ▲:反対 欠:欠席)

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
会議名	議員名	浜岡	萩本	織田	二村	欠番	欠番	加藤	中野	萩尾	仲野	古野	堅田	平見	奥村
1月臨時会	平成26年度遠賀町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○			○	○	○	○	○	▲	○	(議長)

※ 全員一致の議案は除いています。

一般質問とは…

年4回行われる定例会で、議員が町に対して現行政策の見直しや新規政策を提言する議員の重要な活動の一つです。



はぎもと えつこ  
萩本 悦子



## 小中学校で行われている組み体操の安全対策は



緊張感を持って行動するよう、校長会でお願いしている



チームワークや達成感のすばらしさが伝わる組み体操だが…

### 組み体操の安全対策は

**議員** 本町では遠賀南中学校を除く小中学校の運動会・体育祭では、組み体操が行われているが、全国的に組み体操での事故件数は、跳び箱、バスケットボールに続いて3番目となっている。また、平成23年度から平成24年度での事故の増加率はワースト1となっているが、どのような安全対策を行っているか。

**教育長** 緊張感を持って行動するよう、校長会でお願いしている。

**議員** 事故の件数、増加率を考慮して、「組み体操はやめた方がいい」という意見もある。どのように考えるか。

**教育長** 安全対策をしつかり行った上で、今後も継続していく。

### 本町児童の体力向上の取り組み

**議員** 文部科学省の調査によると低下し続けている子どもの体力は底を打ち、徐々に向上しているとのことだが、運動をする子としない子の二極化が進んでいることが明らかになった。本町の子どもの体力についてどう考えるか。

**教育長** 小学校の体力テストは毎年、全学年を対象に実施されているが、本町の児童の体力、運動能力はおおむね良好と判断している。

しかし、学校差や学年差の拡大、運動する子と運動しない子の二極化、そして握力と立ち幅跳びが全国平均よりも低下しているなど、いくつかの課題もある。課題を解決するために努めて行くことが必要だ。

**議員** 体力テストの結果を踏まえて、どのような体育の授業の充実を図っているのか。

**教育長** 一人一人の体力、

運動能力の調査結果を分析して、児童の実態を把握することによって授業に役立てている。特に劣っている項目を事前に理解して指導の重点化を図っている。

また体力を高めるために基本に立ち返って一時間の授業の中で児童に精いっぱいさせ、汗をかかせ、運動量を確保し、そして運動の快適さを味わわせるなどの取り組みを行うことにより、児童の運動に対する意欲を高め、結果的に体力の向上につながるかと捉えている。

**議員** 子どもの体力向上には、学校だけではなく家庭の生活習慣も大きく関わるといわれているが、学校と家庭の連携はどのように行っているのか。

**教育長** 家庭で、縄跳びや朝のジョギングなどを一緒にすることを予想しているが、それぞれの学校での取り組みは把握していない。



## 地区公民館等にもAEDを 設置すべきだ



設置範囲や維持管理の問題など、  
今後の課題だ



なかの しんじろう  
仲野 新三郎



庁舎ロビーに  
設置されているAED

### AEDの設置促進 は

**議員** 町内の公共施設におけるAEDの設置状況は。

**町長** 本町では平成18年から設置を始め、現在は庁舎・各小中学校・ふれあいの里・コミュニティセンター・中央公民館・漕艇場・体育施設・学童に設置している。貸し出し用の1台を含め全部で18台を設置している。

**議員** 心肺停止から1分ごとに生存率は10%低下し、応急手当ての有無が救命率を大きく左右する。各地区公民館では年間を通じていろいろな行事が行われている。地区公民館へのAEDの設置が必要と考えるが設置を促す考えはないか。

**町長** 公民館長会議においても設置の要望はあがっていない。町が設置してもパッドの交換などに費用が掛かるということ

も含め、維持管理をどうするかということになるのかなかなかできない。

地区公民館で行事が行われる場合には、貸し出ししている。

**議員** 救命措置は一刻も早く処置を行うことが大事だと思うが、地区公民館や24時間営業のコンビニなどの事業所への設置も必要と考える。これらの団体や事業所に対してAED購入費の補助を行う考えはないか。

**町長** 日赤が実施している共同購入事業というのがあり、地区公民館に対しては、共同購入すれば安価で購入できるので、補助金に代わる制度になると考えている。

民間については設置すべきだというガイドラインが出ているので、命の問題ということを考えれば必要だと考えるが、設置範囲をどこまでやるか今後の課題だ。

### 小中学校での救命 講習は

**議員** 日本蘇生協会のガイドラインではおおむね10歳以上が救急講習の対象となっている。小中学校においても児童・生徒に対して救命講習を行うべきだと考えるが。

**教育長** 児童・生徒に対しては実施していない。教職員は消防署によるAEDの使用を含めた3時間の講習を行っている。中学2年生の保健の授業の中では心肺蘇生、人工呼吸と一緒にAEDを取り上げている。

命に関わるようなので研修を受けた教職員や消防署にお願いして児童・生徒に対しての研修の実施を検討していく。

※この他にも、「空き家対策」について質問しました。



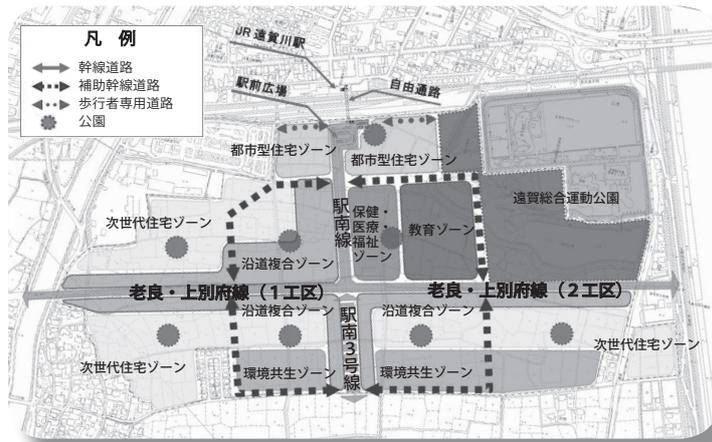
ふるの おさむ  
古野 修



## 駅南まちづくり構想で学校を誘致する考えはあるか



### 運動公園やコミセンの隣接地は教育関係が一番いいと思う



駅南予想図

公約の駅南構想・成長戦略を尋ねる

**議員** 駅南まちづくり構想に変更はあるか。

**町長** 区画整備準備組合で決定するが、現在、町が策定したまちづくり構想に沿って進んでいる。

**議員** 組合の意見が尊重されるべきだが、計画の中での教育ゾーンに学校を誘致する考えはあるか。また、駅南を無電柱化する考えはあるか。

**町長** 総合運動公園やコミセンを利用できる教育関係が一番いいと思う。無電柱化は、福岡県でも1%弱となっている。財源の問題もある。

**議員** 小・中学校施設整備（エアコン設置）の時期を尋ねる。また、小中学校5校同時に導入の考えがあるのか尋ねる。

**町長** 財源の問題もあるが任期中一日でも早く実現できるように努力する。必要性の高い所から先に

やるか協議する。  
**議員** 導入時期に差があるのはよくない。極力同時期に行うべきだ。

**町長** 防衛省・文科省などど協議もあり、全国的にも要望が多い。教育委員会とも十分連携をとり、同時にやる方向で進めていく。

**議員** エアコン設置は郡内4町でも計画されている。財源の問題もあるが、早期設置は定住促進にもつながる。早期に設置するべきだ。

**議員** 国道3号線今古賀下り車線の立体化工事計画は着実に前進しているが、今後、付近の渋滞が見込まれる。対策を尋ねる。

**町長** 町道・県道を迂回（うかがい）することが予想される。駅南線が平成27年春に開通するが、老良・上別府線2工区も計画通りに予算措置を国に願っている。

**議員** 老良・上別府線2工区を早急に開通させる

べきだ。同時に戸切の踏切工事が計画されているので、駅南線へつながる県道も新規整備することにより渋滞緩和になる。

**議員** 防災機能の充実の一手を打っていくべきだ。一つとしてテレドームによる情報提供体制とあるが、防災に限らずRSS機能を使い、行政から防災やイベント情報など積極的に発信する考えはあるか。

**町長** テレドームは平成25年に整備し、防災無線放送が聞き取りにくい折に指定のダイヤルに電話すれば放送内容を確認することができるサービスだ。今後、RSS機能の整備も含め検討する。

(注) RSS

情報更新された時だけ、お知らせする情報発信サービス。



## 駅舎からバス停までの屋根の増設をすべきだ



### 今年度中の完成を目指して増設を行う



おだ たかのり  
織田 隆徳



増設が決まったバス停の屋根

バス停の屋根の増設をすべきだ

**議員** 駅舎からバス停と自由通路までの途中は、屋根が設置されていない箇所があり、雨の日は不便である。屋根の増設をすべきだ。

**町長** J Rと協議が整い次第、今年度中の完成を目指して増設する。

駅ホーム屋根の増設をすべきだ

**議員** 停車車両の多くが6両編成や8両編成で、車両がホームからはみ出している。雨の日は不便であり、ホーム屋根の増設をすべきだ。

**町長** 上り線は5両編成、下り線は4両編成に対応している。J Rは今後、増設の予定はなく、乗降客数の状況と現在も乗降客が伸びていない現状では、増設は厳しいとの回答だ。

**議員** 駅南の開発が始ま

り駅舎の改修が必要だ、引き続きJ Rに要望するよう要請する。

駅前再生は大学の研究室と共同して

**議員** 駅前の再生に当たっては、大学の研究室と共同し、専門家や若い学生を取り込んだ手法による計画作りを取り入れるべきだ。

**町長** 遠賀町商店街振興計画の期間が平成27年度までで、計画を見直す時期である。ぜひ専門家や若い人の発想を取り入れて、策定し直す気持ちでやりたい。

J A北九支店跡地の活用は町主導で

**議員** 駅前地域は高齢化が進んでおり、買い物対策も考慮すべきだ。また、駅前再生の起爆剤となる土地でもある。J A北九で活用案が決まっただけでは遅い。町がどういう活用を求めるのか、まず

構想を決めてJ Aと協議すべきである。

**町長** やすらぎ会館の建て替えを中心に、今コンサルタントに活用案の作成を依頼している。再来年中には具体化する。聞いています。近いうちにJ Aと協議を行う。

35人学級は継続すべきだ

**議員** 財務省は、効果がみられないとの理由で小学1年生に導入されている35人学級を、40人学級に復活させる案を提示した(反対意見が多く後に撤回した)。再度の提示が考えられるが継続すべきだ。

**教育長** 効果があるので継続したいと考えているが、予算や講師の確保が問題で決めかねている。

※この他にも、「中学校英語教諭の英語能力」

について質問しました。

※ 一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ (<http://www.town.onaga.lg.jp/>) で公開します。



はま おか  
濱岡  
みね さと  
峯達



## 自立推進計画・行動計画の 進捗状況の公表は



各課から進捗状況の報告を受け検討後、町広報で知らせている



本町行政運営の司令塔  
執務状況

進捗状況を公開していない理由は

**議員** 平成25年度の行動計画進捗状況が一年を経過して、一般に公開されていないが理由は何か。

**町長** 平成26年については町広報にて知らせたが、議員指摘のホームページ、または行政経営課窓口での公開については、失念しており公開が遅れ申し訳ない。

**議員** 平成26年度の行動計画が確定された時点で3ブロックに分けて最低2回以上進捗状況の説明会を開いてはどうか。

**町長** 役場職員が出前講座を行っているので、新年度に向けて内部協議を行い報告会的なものを今後取り入れていきたい。

本年度末で行動計画は達成できるか

**議員** 行動計画の中で、年度内で達成できないものは何か、その最大の原

因は何か。

**町長** 総務課所管分で平成26年5月に地方公務員法の改正で人材育成方針と人事評価制度の改正があり、次年度に回さなければならぬ。

第3期行動計画に数値目標の設定は

**議員** 平成27年度を出発点として、隔年ごとに数値目標を掲げるというようなことを考えてみてはと提案する。

**町長** 数値目標というものは、行政改革推進委員会の中で議論をしていただき、目標数値が掲げられるものについてはそういうかたちものを出していけばと考える。

計画達成にPDCA手法の運用を

**議員** PDCAの管理手法については、幾度となくこの場において提言をしてきた経緯がある。P(計画) D(実施)につ

いては着実に浸透しているが、C(チェック)とA(アクション)については不十分と言わざるを得ない。実際にやった仕事はどうであったか、成果を得られたか、成果を得られなかった理由は何か等を検証する上でC(チェック)とA(アクション)を回す必要があるが考えを伺う。

**町長** PDCAを回した結果、最終的にアクションとして起こすのが予算化し、行動を起こすことだろうと行政では捉えている。

**議員** 実際にPDCAを内部的回していると言っても、外部的に見た場合CとAが備わっていないればPDCAを回しているとは言いがたいので、公に出すものについては、ちゃんとすべきではないかと思う。



## 認知症の人とその家族を支援するべきではないか



おんが病院と連携し、事業委託をすることになると思う



かた だ しげる  
**堅田 繁**



社会福祉協議会が行う  
介護予防教室

### 高齢者福祉サービスの充実

**議員** 改正された介護保険制度では、予防給付から介護予防・日常生活支援総合事業へ移行する。高齢者の多様なニーズに応えるこの事業は、いつから実施するのか。

**町長** 遠賀郡4町で協議をし、平成28年4月中の実施を目標に、準備を進めている。

**議員** 包括支援事業の取り組みを強化するために「地域ケア会議」の位置付けが重要になる。どのように推進するのか。

**町長** 5つの機能を連動させる仕組みをつくり、それを「地域ケア会議」と位置付けて推進していく段取りを進めているところだ。

**議員** 認知症初期集中支援チームを立ち上げて、認知症の人とその家族を訪問して、支援を行うべきではないか。

**町長** おんが病院の敷地内に、在宅医療推進室ができる予定だ。

遠賀郡4町での協議を終えたので、遠賀・中間医師会に事業委託をすることになると思う。

**議員** 団塊の世代の人が後期高齢者になり、単身世帯が増加する。

生活支援サービスを充実させるため、コーディネートネットワークの配置や地域ネットワークを構築するべきではないか。

**町長** 生活支援サービスは、地域包括支援センターの職員や在宅介護支援センターの職員、また、社会福祉協議会の職員が研修を受けた後で、事業を推進していくと考えている。

**議員** 介護保険制度の改正を受け、関係する事業者、利用者、介護従事者などへの説明会をするべきではないか。

**町長** 平成27年2月に実

施する事業者説明会でしっかり説明する。  
また、介護保険制度の在り方は、利用者にはケアマネージャーを通じて説明を行っていただく。そして、広報やチラシなどを活用した周知も当然行っていく。

(注) 5つの機能

- ① 個別的課題解決
- ② ネットワーク構築
- ③ 地域課題発見
- ④ 地域づくり資源開発
- ⑤ 政策形成

※この他にも、「空き家等対策の推進に関する特別措置法」が成立したことを受けての本町の対応について質問しました。



かとう よういちろう  
加藤 陽一郎

Q

農業後継者問題が深刻となった場合、大企業の参入は

A

現時点では、そのような環境にはないと認識している



拡大する耕作放棄地

本町の農業に大企業の参入は

**議員** 農業後継者問題が深刻となり、後継者のいなくなった農地は認定農業者が法人化した経営体にお願ひするしかないが、両者とも大規模経営ではなく、耕作面積には限りがあり、耕作放棄地の拡大を危惧する。そこで、大企業を農業に参入させる考えはないか。

**町長** 本町の農地における農業経営は、認定農業者や地域農業組織で維持されており、地域営農体制をしっかりと支援していく必要がある。後継者問題の深刻度により、耕作者がおらず、一定規模の優良農地が耕作放棄地化する場合には、大企業の農業参入が考えられるが、現時点では、そのような環境にないと認識している。ただし、農地所有者による積極的な大企業の農業に参入活

用は、生産向上性や、新規事業、新たな雇用の場として有効な手段の一つとして捉えている。

定住促進の具体的政策は

**議員** 町長選挙での公約に、定住促進のための政策を実行するとあるが具体的な内容を尋ねる。

**町長** 今回議案として定住促進の策定予算を計上し、策定作業の検討に入るので、現時点では示せない。しかし基本的な項目は、住宅支援などの施策、企業誘致、農業支援などの産業振興、雇用の対策そして、子育て・保育・医療などの定住を促すための条件整備である。

ふるさと納税を増やす努力は

**議員** ふるさと納税のお礼として、地元特産品を贈る作戦に出るブームが全国に広がっており、今や、特典の豪華さを競い合っている。本町でも、9月議会で予算計上され、11月から記念品制度を開始されたが、その点の考えは。

**町長** 豊かなふるさと寄附金に対して記念品制度を開始したので、当然やるといふことだ。ふるさと納税に対する考え方はいろいろあるが、特産品をふるさと納税に置き換えて本町の特産品を全国に発信していく考えは、正当だと思っている。今後、特産品の品目を全国に啓発するためにも、多くの方がふるさと納税していただければと思っている。

**議員** 増やすために、特産品でお礼として、記念品制度を開始し、全国に知ってもらうことは副産物として大変大きいと思うので、ぜひそこは力を注ぐべきだ。



## 介護に携わる地域ボランティアの育成は



住んでいる地域の方を中心に、携わってもらうことが一番と考える



はぎ お 荻尾 おさ み 修身



一人住まいの高齢者を見守る  
地域ボランティア

### 介護に携わる地域ボランティアは

**議員** 地域支援事業には介護に携わるボランティアの育成が欠かせない。本町ではどのように育成していくつもりか。

**町長** 今回の介護保険制度改正によるボランティアの活動には二通りの考え方があ。一つは地域コミュニティを活用した生活に密着したもの。住んでいる地域を中心とした、向こう三軒両隣の関係を通し協力し合うもの。二つ目はサービスの内容を重点とした特定活動によるもの。現在、社会福祉協議会が主体となって育成している。主旨はサロン活動を通した声掛けや身守り活動を中心に行っているもの。今後、ボランティア養成講座の実施の検討、派遣支援体制の実施などを行っていく。老人クラブ、シルバー人材センター、既存の各種

ボランティア団体などさまざまな組織・住民の関わりが必要と考えている。

### 地域支援事業について本町の対策は

**議員** 介護費の抑制のため現在、全国一律になっ

ている要支援向けの通所訪問介護サービスの内容や価格などを、国は平成15年度より3年間で市町村に移管するとした。しかし、多くの市町村が人材不足や財源不足を理由に見通しが立たないと答えている。本町では現状のサービスは維持できるのか。財源の確保はどう考えているのか。

実施に支障はないと考える。

### ボランティア組織の継続は

**議員** この地域支援事業の最大のメリットは、近

所の方が訪問介護することによって新たな支えあ、これを確立することにある。地域ボランティアの活動を継続していくためには、リーダーやコーディネーターの育成・確保が必要不可欠と考える。本町の支援策は。

**町長** 社会福祉協議会や老人会などそれぞれのプログラムによりリーダーの育成をしていく。また、県が主催する生活支援コーディネーター育成研修を終了した方が地域において生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネーターを実施し、ニーズとサービスをマッチングしていく。

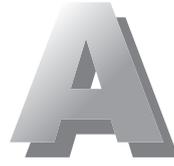
※ 一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ (<http://www.town.onaga.lg.jp/>) で公開します。



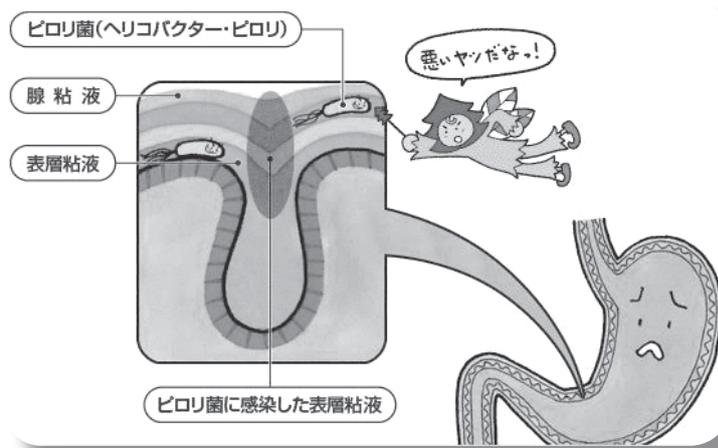
なかの よしのり  
中野 嘉徳



# がん検診に<sup>(注)</sup>ピロリ菌除菌検査を追加する考えはないか



まずは、胃がん健診の受診率を高めていきたい



ピロリ菌は  
胃の粘膜にすみつく悪い菌

## がん検診にピロリ菌検査の追加を

**議員** WHO（世界保健機構）は、胃がん発がんの8割はピロリ菌が原因であると報告を発表した。日本人のピロリ菌感染者は、約3500万人といわれており、年間12万人が胃がんを発症し、そのうち5万人が死亡していると推測されている。胃がん発症を予防するため、胃がん検診にピロリ菌除菌検査を追加する考えはないか。

**町長** ピロリ菌が胃がんの発症に関与していることは、広く知られているところである。しかし、中高年者の60%以上に感染が認められているが、そのうち発症率は、年間0・4%に過ぎない。ピロリ菌の影響に加え、胃内部の環境や塩分の摂取、野菜不足、喫煙など、総合的に関与して発症している。従って、胃がん検

診の受診率向上に力を入れていきたい。

**議員** 病気が見つければ生命に関わる問題だ。再度、ピロリ菌除菌検査を追加する考えはないか、確認する。

**町長** がん検診は、予防より早期発見が目的である。リスク検査を実施してもピロリ菌除菌をしなければ、胃がんの予防はできない。早期発見に力を入れていきたい。

**議員** ピロリ菌の検査導入は先ということか。

**町長** まだまだ慎重に対応しなければと思っっている。

**議員** がん教育はどのよう  
うに考えているか

**議員** 学校におけるがん教育は、どのように考えているか。

**教育長** 保健の教科書にがんの項目があり、これによって指導している。がんは生活習慣病との関わりが深い病気であり、子

どものころから望ましい生活習慣を身に付けることが大切だ。学校教育において、がんに対する正しい知識と理解を深め、がん予防を学習することは重要であると考えている。

**議員** 京都府や秋田県、大阪府では、がん教育を実施している。本町も教育の現場で新しく、がんの授業を設ける考えはないか。

**教育長** 教材や指導法が開発されていない課題がある。現在、新しくがんに特化した授業をどんどん進めていく考えはない。

(注) ピロリ菌

ピロリ菌は、胃の粘膜に生息しているらせん形をした悪い菌で、感染が継続すると慢性胃炎が進みます。この慢性胃炎が、胃潰瘍や十二指腸、萎縮性胃炎、胃がんなどの病気を引き起こす恐れがあります。

# 皆からの力で議会だよりをより良いものに 議会広報モニター募集

広報調査特別委員会では、「議会だより」に関して、町民の皆さんからの意見や感想、提言などを幅広くお聴きするため「議会広報モニター」を募集します。

## ● 仕事内容

▽「議会だより」に対するアンケートの記入

▽モニター会議への出席  
(年2回程度)

## ● 対象

次の条件をすべて満たす人

① 遠賀町に住んでいる20歳以上の人

② 議会広報に深い関心があり、公正な社会的見識がある人

③ 現在、常勤の公務員でない人

● 募集人数 5人以内

## ● 任期

平成27年4月1日～平成28年3月31日

## ● 申し込み・問い合わせ

〒811-4392

遠賀郡遠賀町大字今古賀513番地

☎093(293)1235

## ● 申込方法

議会事務局(役場2階)に準備している専用の申込用紙に、住所・氏名・年齢・性別・電話番号・職業と、応募の動機または議会だよりの感想を記入し、提出してください。

● 締め切り 2月27日(金) 午後5時15分(必着)

## ● その他

▽モニターの選考は、年齢や性別、居住地域などを考慮し、厳正に行います。

▽選考結果は通知しますが、選考内容の公表は行いません。

遠賀町議会事務局

## 謹んで新年のお喜びを申し上げます

遠賀町議会 議員一同



下段左から

- 浜岡 達
- 古野 修
- 平見 光司
- 奥村 守
- 堅田 繁
- 仲野 新三郎
- 二村 義信

上段左から

- 萩尾 修身
- 中野 嘉徳
- 加藤 陽一郎
- 萩本 悦子
- 織田 隆徳

## 遠賀議会だより

発行責任者

議長 奥村 守

広報調査

特別委員会

委員長

萩本 悦子

副委員長

平見 光司

委員

織田 隆徳

仲野 新三郎

加藤 陽一郎

萩尾 修身

お気軽に傍聴にお越しください。

次回の定例会は

# 3月です

詳しい日程は、2月下旬に遠賀町ホームページ(<http://www.town.onga.lg.jp/>)でお知らせします。

本会議の様子は、以下の場所でライブ中継を行います。  
遠賀町役場・遠賀町中央公民館・ふれあいの里センター・駅前サービスセンター  
※遠賀町ホームページからも、視聴することができます。

## あとかき

昨年12月に「地元酒等による乾杯の推進に関する条例」が議員提案により制定されました。

この条例はいわゆる「乾杯条例」といわれるもので、本町の特産品を使用しているの乾杯を推進することによって、特産品や農産物の販売を促進し、地域の活性化につなげていくというものです。

地元の特産品を振興を目的として、全国でも多くの自治体によって条例が制定されています。

本町にも日本酒・焼酎・しそドリンクといった特産品のほかに、特別栽培米の夢れんげや遠賀ふきなどのおいしい農産物がたくさんあります。

この条例を通して、本町の産業発展のため、地域振興のために、議会・行政・町民が一体となって取り組んでいきたいと考えます。仲野 新三郎